

## 目標達成計画

作成日: 令和2年7月31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 看取り介護に対しての家族様の希望もあり、今後看取り介護が行えるよう勉強会など、今後も職員のレベルアップを図っていく必要がある。	利用者の方に最期の時を安楽に過ごして頂くことを目標に、職員の看取りに対する不安を除去し、看取りを安心して行える体制を整えていく。	・全職員に看取り介護について、より深い知識と意識の向上を図るための研修を行い、医療機関とは具体的な医療連携体制の構築を図る。 ・利用者様の状態に合わせて家族に寄り添い、意思疎通を密にして、適宜、終末期に対する意向を確認をする。	12ヶ月
2	35	○火災以外の想定される災害時の災害訓練の定着化を図る。	災害時発生時の対応について慌てず行動できるよう、教育・備蓄・訓練を積極的に行う。	定期的な備蓄の確認、避難時に必要な物品の検討。災害時の対応について、防災マニュアルに基づき訓練の実施、反省点や改善策を立てる。	12ヶ月
3	26	○介護計画は、アセスメントからしっかりと把握するように作成しているが、重度のご利用者の言葉にならない思いを取り入れられているかなど、ニーズや要望に沿ったケアプランを作るのが難しい。	アセスメントをしっかりと行い、課題分析から介護計画を立てる。	ちょっとした言葉や裏側にある思いを感じ受け止める。ご家族からの聞き取りやカンファレンスを開催しチームとしてアセスメントしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。